

俳優・生田斗真さんがナレーションを担当！横山大観旧宅及び庭園と作品の魅力を伝えるビデオ作品が完成

国史跡および名勝に指定されている横山大観旧宅及び庭園、そして日本画の巨匠・横山大観の作品の魅力を国内外に発信するビデオが完成しましたのでお知らせいたします。ナレーションは、俳優の生田斗真さんが担当。生田さんの情感豊かな語り、大観の芸術世界や旧宅及び庭園の歴史的価値を映像とともに鮮やかに描き出します。この映像作品を通じて、横山大観の独自の美意識と、日本が誇る文化遺産の魅力を新たな形でお届けします。

このビデオは、2025年1月16日より横山大観記念館で公開されます。横山大観記念館は、横山大観旧宅及び庭園を、大観在りし日のまま保存・公開しています。ここは大観が晩年を過ごし、数々の名作を生み出した創作の場であり、芸術と歴史が交差する特別な空間です。建物も庭園も大観の美意識が息づく設計となっており、訪れる人々に日本人の自然美と完成の豊かさを感じさせます。生田斗真さんのナレーションで横山大観の世界を体感するとともに、ぜひ大観の芸術に触れてみてください。



生田斗真さんコメント

「今回、日本の素晴らしい文化や歴史的価値を国内外に広めるお手伝いができることをとても光栄に思っています。横山大観さんの作品や旧宅、庭園には、まさに日本が誇る美意識が詰まっています。その魅力をできる限り多くの方にお伝えしたいという思いから、私自身も学びながら参加させていただきました。このビデオを通じて、皆さまが横山大観記念館や彼の芸術に興味を持ち、日本文化への理解が深まるきっかけとなれば幸いです。ぜひ、記念館でその魅力を直に感じてみてください。」

生田斗真（イクタ トウマ） 生田斗真（イクタ トウマ） 1984年生まれ。1996年にNHK Eテレ「天才てれびくん」に出演後、ドラマ「花ざかりの君たちへ～イケメン♂パラダイス～」(2007年)で注目を集める。その後も、ドラマ「魔王」(2008年)、映画「僕等がいた 前篇/後篇」(2012年)、映画「脳男」(2013年)、映画「先生！、、、好きになってもいいですか？」(2017年)、映画「友罪」(2018年)、ドラマ「俺の話は長い」(2019年)、映画「渇水」(2023年)、舞台「バサラオ」(2024年)、映画「土竜（モグラ）の唄」シリーズなど、多くの作品で主演を務める。また、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」(2014年)「いだてん」(2019年)、「鎌倉殿の13人」(2022年)、今年の大河「べらぼう～ 蔦重栄華乃夢斬～」(2025年)にも出演。幅広い年代から愛される俳優として、映画・ドラマ・舞台で活躍中。

※本ビデオは、横山大観でつながるミュージアム実行委員会が企画し、文化庁「Innovate Museum」事業の補助を受け、毎日映画社が制作しました。